

復興を誓って、前へ。

がんばろう 七ヶ浜!!

七ヶ浜町の復興概況



□宮城県七ヶ浜町の概況 [平成29年8月1日現在]

- 面積 13.19k m² (東北・北海道最小)
- 人口 19,051人 (東日本大震災前 平成23年3月1日現在 20,855人 △1,804人)
- 世帯数 6,627世帯 (東日本大震災前 平成23年3月1日現在 6,568世帯 59世帯増)
- 高齢化率 27.9% (平成29年4月1日現在)
- 少子率 11.7% (平成29年4月1日現在)
- 産業別人口割合 (平成22年国勢調査時)
第1次産業 3.2% 第2次産業 25.7% 第3次産業 69.8%
- 仮設住宅 H29.3.31 供与終了
(最大: 応急仮設住宅7団地 425戸・民間みなし仮設住宅 218戸)
- 姉妹都市 アメリカ合衆国マサチューセッツ州プリマス
- 友好の町 山形県朝日町

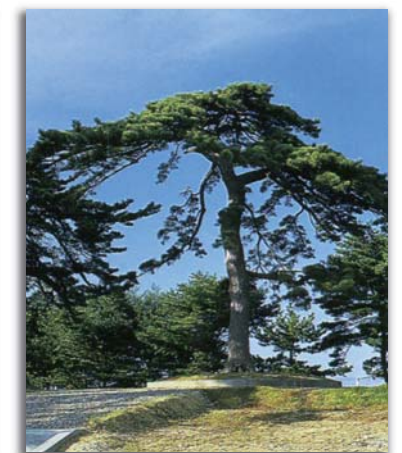
□目次

- 1 東日本大震災による七ヶ浜町の被災状況
- 2 震災復興計画
- 3 住宅復興・地域復興
- 4 都市公園(津波防災緑地)・治山(潮害防備保安林)事業・地区広場
- 5 産業復興
- 6 産業誘導・観光促進

うみ・ひと・まち 七ヶ浜
TOWN OF SHICHIGAHAMA



町花 はまぎく

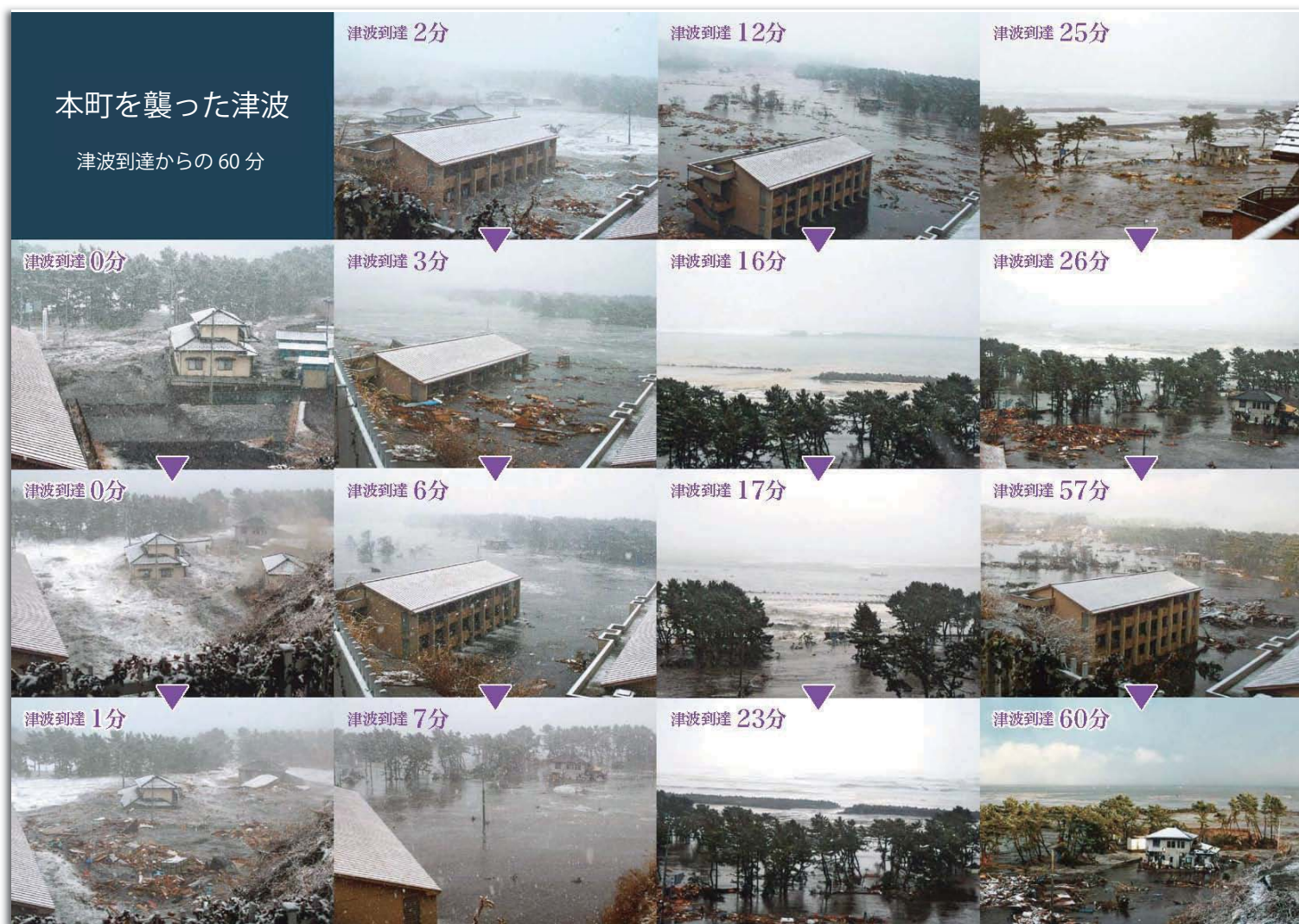
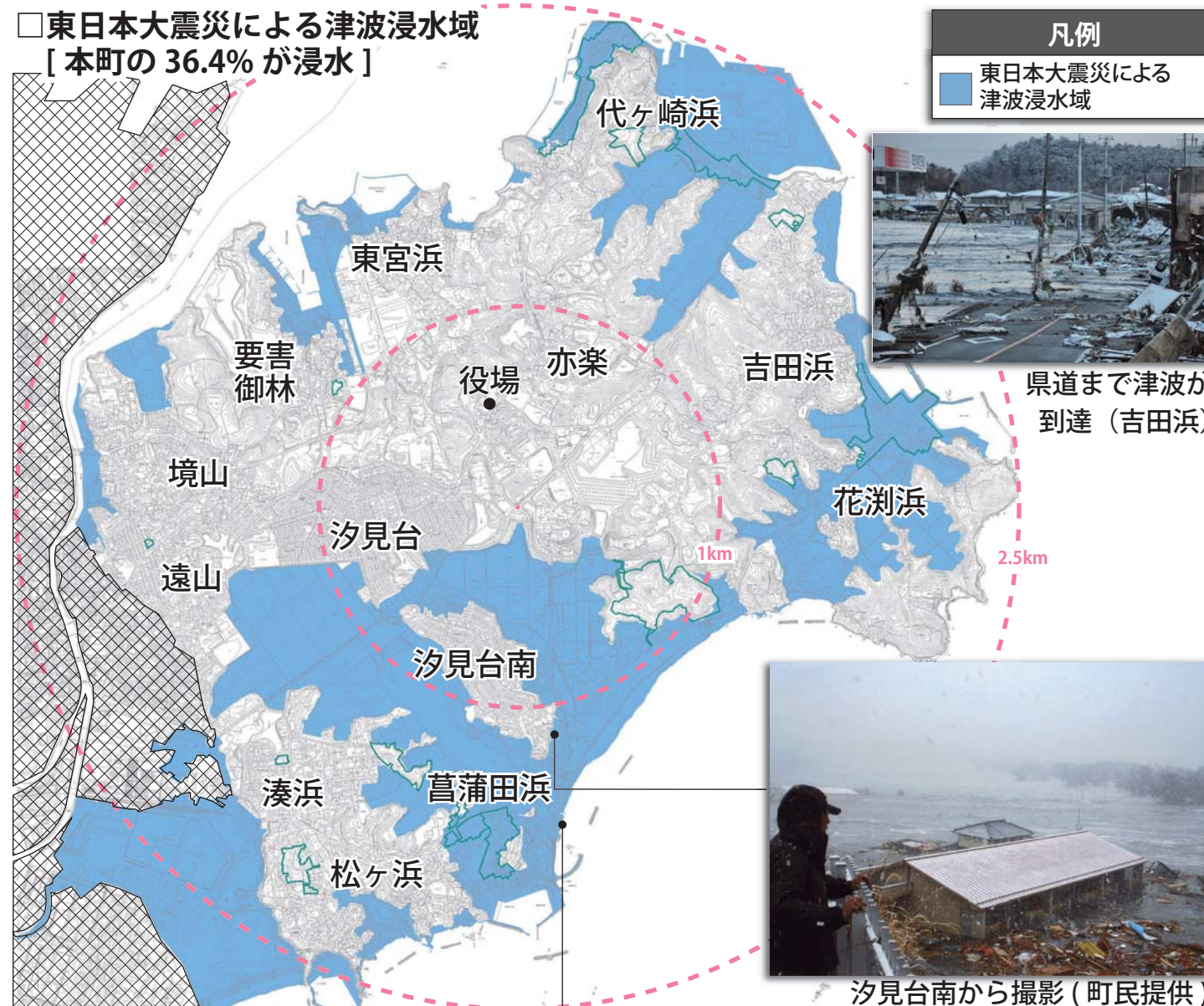


町木 くらまつ

1 東日本大震災による七ヶ浜町の被災状況

- 地震発生 平成23年3月11日（金）14時46分頃（震度5強）
※宮城県（最大）震度【7】栗原市
その他 宮城・東北を中心に北海道から九州にかけて地震発生
- 津波発生 津波浸水高：12.1m（同日15時51分第1波到達）
- 津波浸水面積 4.8km²（町面積の36.4%）
- 避難者数（最多数）6,143名
- 避難所数（最多数）36ヶ所

□死亡者		□住家被害	
七ヶ浜町民で亡くなった方	94名	流失・全壊	674世帯
七ヶ浜町で亡くなった町外の方	12名	大規模半壊	237世帯
行方不明者（死亡届出者含む）	2名	半壊	413世帯
震災関連死	3名	一部損壊	2,605世帯
計	111名	計	3,929世帯



汐見台南から葛蒲田方面：七ヶ浜町震災記録集 次代への伝承より



1 東日本大震災による七ヶ浜町の被災状況



湊浜地区



松ヶ浜地区



菖蒲田浜地区



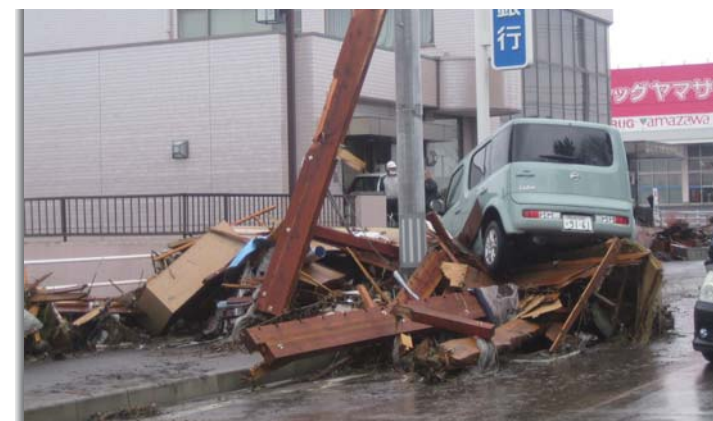
花淵浜地区



吉田浜地区



代ヶ崎浜地区



汐見台地区



避難所 (松ヶ浜小学校)



自衛隊による捜索活動



消防団による捜査活動



給水活動の様子



ボランティア活動の様子



海拔約 12m の避難所も被災



屋根に打ち上げられた船



全壊した七ヶ浜中学校

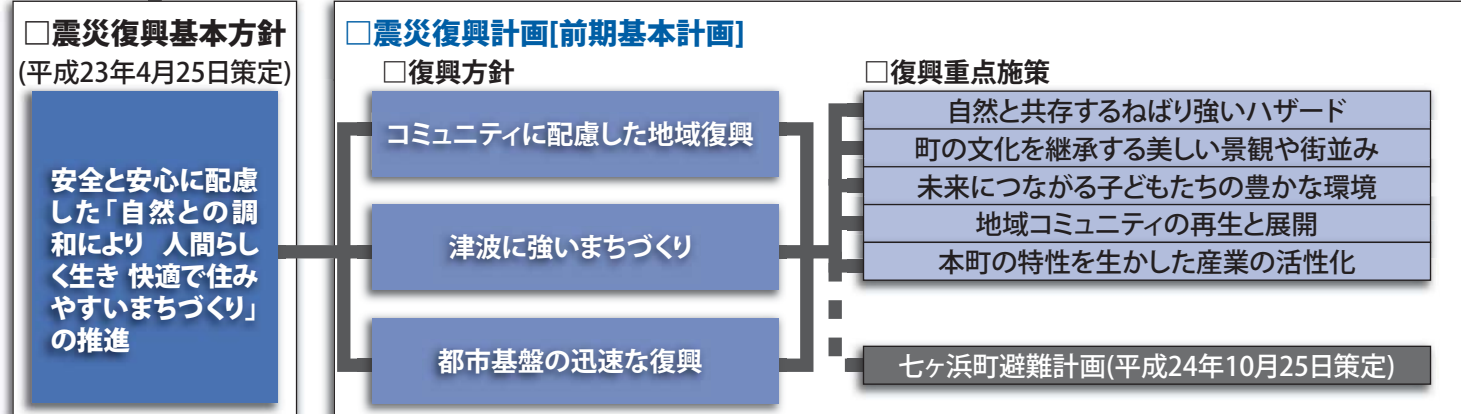


隣接する製油所の火災

2 震災復興計画

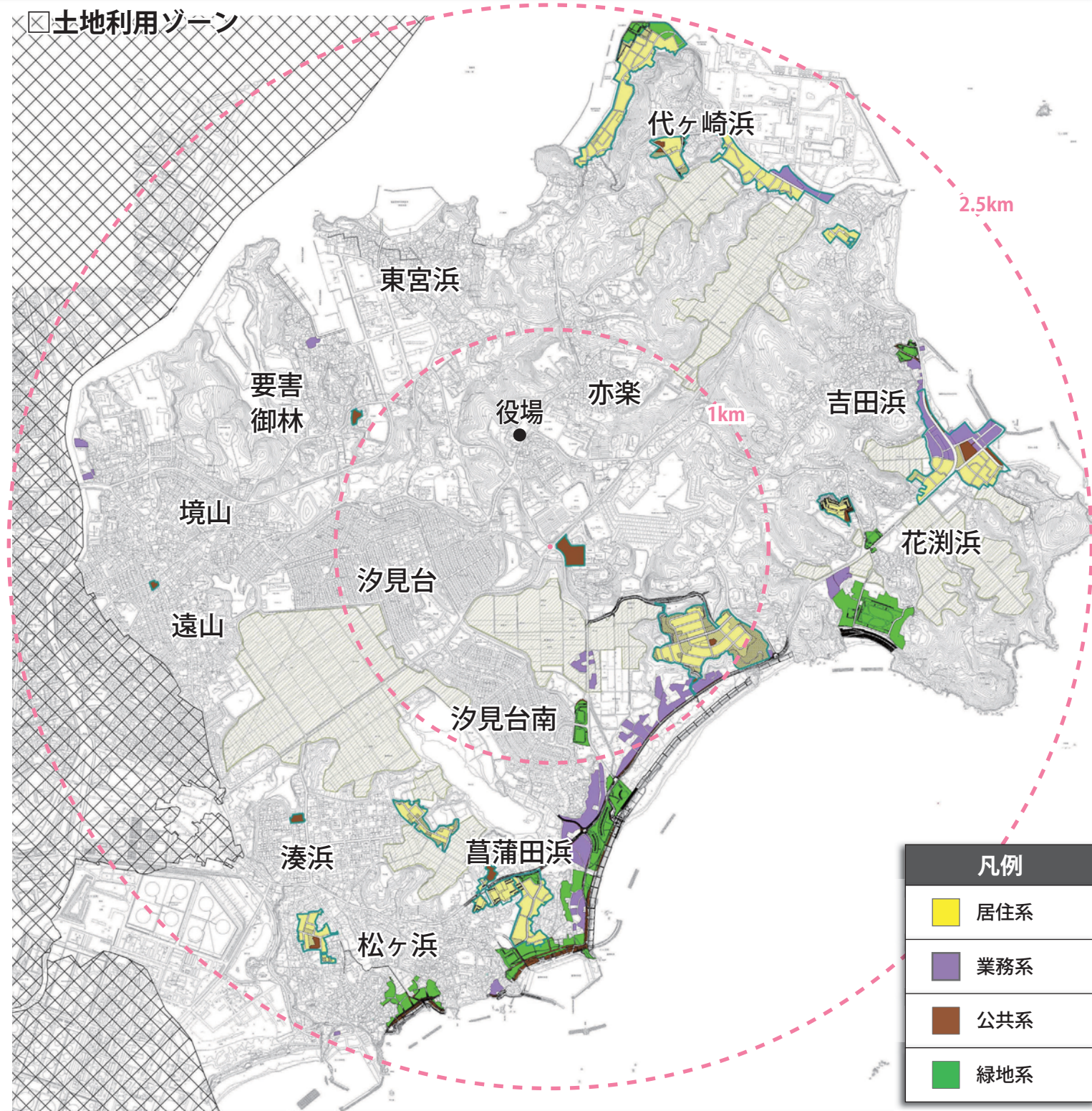
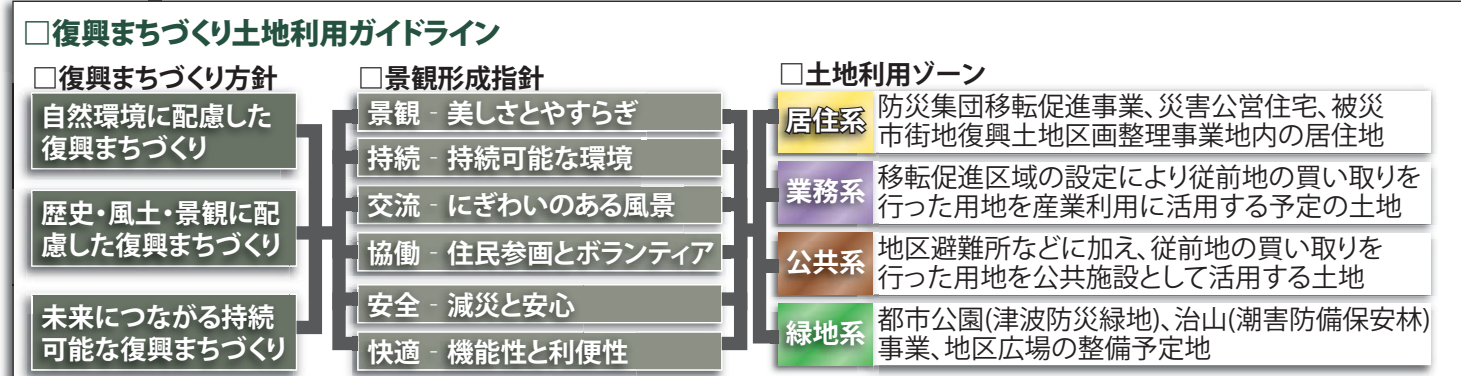
震災復興計画は、平成 22 年度に策定した長期総合計画 (2011-2020) に盛り込まれたまちづくりの基本理念を踏まえながら、東日本大震災からの復興という新たな施策へ取り組むために、平成 23 年 11 月に策定しました。平成 26 年 2 月には、改訂版にあたる、前期基本計画 [2011-2015] 更新版と、「復興まちづくり土地利用ガイドライン」を策定しました。

□長期総合計画・震災復興計画の構成



土地利用ルール [町全体面積 1,327ha]	面積 (ha) (比率 %)	土地利用ルールの説明	現地 再建	高台住 宅団地	災害公営 住宅 ^{※2}
レッドゾーン (津波浸水域)	159.1 (12.0)	災害危険区域(建築基準法第39条)を指定して、居住用の建物の建築が出来ないように建築制限	×	○	○
イエローゾーン (津波浸水域)	22.5 ^{※1} (1.7)	被災市街地復興土地区画整理事業の対象エリア	○	○	○
ブルーゾーン (津波浸水域)	301.4 (22.7)	現地再建を想定したエリア	○	×	○
指定なし (非津波浸水域)	844.0 (63.6)	現地再建を想定したエリア	○	×	○

※1 レッドゾーン重複分 3.5ha を含みません。 ※2 災害公営住宅は、入居要件を満たしていることが前提となります。



3 住宅復興・地域復興

被災直後から、被災者の多くの声として挙げられたのは、「既存の地区内に高台住宅団地や災害公営住宅を整備してほしい」という意見でした。津波被害を免れた住民の方からも、「地域のきずな」を確保する観点から、地域内の住宅復興を望む声が寄せられ、既存コミュニティに配慮した整備予定箇所の設定を行いました。

事業区分	地区名	完了予定※
防災集団移転促進事業 [5地区 194戸]	①松ヶ浜西原地区(13戸)	平成26年3月完成
	②菖蒲田浜中田地区(30戸)	平成26年6月完成
	③笹山地区(128戸)	平成27年3月完成
	④吉田浜台地区(9戸)	平成26年9月完成
	⑤代ヶ崎浜立花地区(14戸)	平成26年9月完成
災害公営住宅整備事業 [5地区 212戸]	①松ヶ浜地区(32戸)	平成27年3月完成
	②菖蒲田浜地区(100戸)	平成27年10月完成
	③花淵浜地区(50戸)	平成27年12月完成
	④吉田浜地区(6戸)	平成27年3月完成
	⑤代ヶ崎浜地区(24戸)	平成27年12月完成
被災市街地復興土地区画整理事業 [4地区 26ha]	①菖蒲田浜地区(4.1ha)	平成31年度予定
	②花淵浜地区(9.8ha)	平成32年度予定
	③代ヶ崎浜A地区(4.7ha)	平成31年度予定
	④代ヶ崎浜B地区(7.4ha)	平成32年度予定
地区避難所等公共施設整備事業	①湊浜地区避難所	平成27年1月完成
	②松ヶ浜地区避難所	平成27年2月完成
	③菖蒲田浜地区避難所	平成27年7月完成
	④笹山地区避難所	平成27年10月完成
	⑤花淵浜地区避難所	平成27年11月完成
	⑥代ヶ崎浜地区避難所	平成27年5月完成
	⑦要害・御林地区避難所	平成27年8月完成
	⑧遠山地区避難所	平成26年9月完成
	⑨防災拠点施設(生涯学習センター内)	平成27年11月完成
	⑩菖蒲田浜パトロールセンター	平成29年2月完成
	⑪遠山保育所	平成25年4月完成
	⑫学校給食センター	平成26年2月完成
	⑬テニス・フットサルコート	平成25年12月完成
	⑭七ヶ浜中学校	平成27年3月完成

※完了予定
 ・高台住宅団地は、住宅団地造成完了(工事完了ではない)の月
 ・地区避難所は、工事完了月(建築及び外構工事を含めすべての工事完了)
 ・災害公営住宅は、建築完了後県より引き渡しを受けた月(入居開始は、松ヶ浜・吉田浜4月、菖蒲田浜10月、花淵浜・代ヶ崎浜12月)



② 災害公営住宅整備事業 菖蒲田浜地区



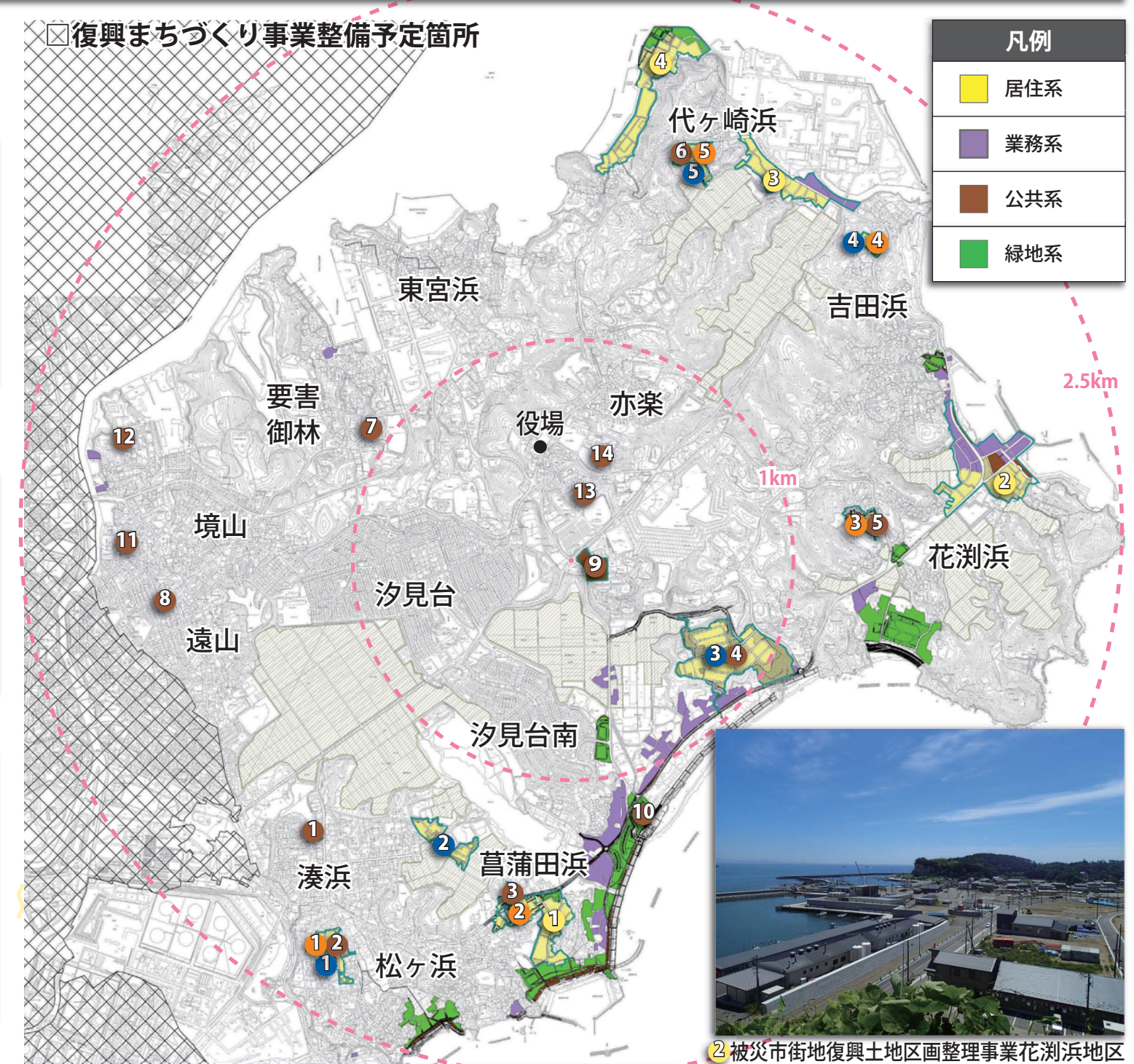
④ 災害公営住宅整備事業 吉田浜地区



④ 笹山地区避難所



⑨ 防災拠点施設(生涯学習センター内)



⑭ 七ヶ浜中学校



② 被災市街地復興土地区画整理事業花淵浜地区



③ 防災集団移転促進事業 笹山地区

4 都市公園（津波防災緑地）・治山（潮害防備保安林）事業・地区広場

□緑地系の整備方針

□都市公園（津波防災緑地）事業・治山（潮害防備保安林）事業

海浜部の低平地に位置する移転元地の一部などを利用した都市公園（津波防災緑地）事業や治山事業（潮害防備保安林）の整備により、津波エネルギーの減衰や津波到達時間の遅延、漂流物の捕捉により背後に位置する住宅地の安全性を高めるほか、居住系や業務系との連携をはかり、地域のコミュニティ拠点やにぎわい拠点を確保します。

□地区広場整備事業

海浜部の低平地に位置する移転元地の一部などを利用した地区広場の整備により、隣接する居住系や業務系との連携をはかり、地域のコミュニティ拠点やにぎわい拠点を確保します。

□都市公園（津波防災緑地）事業

（単位：ha）

図	箇所名	完了予定	面積
	菖蒲田浜海浜公園	H29 年度	4.3
①	菖蒲田浜海浜公園	H29.1 完成	(1.1)
②	菖蒲田浜海浜公園南側	H29 年度	(2.1)
③	汐見台南	H28.6 完成	(1.1)
④	菖蒲田漁港緑地	H30 年度	2.5
⑤	諏訪前緑地	H28.5 完成	0.3
⑥	表浜緑地	H30 年度	5.0
⑦	割山緑地	H28.5 完成	0.5
計			12.6

□治山（潮害防備保安林）事業

（単位：ha）

図	箇所名	完了予定	面積
⑧	松ヶ浜潮害防備保安林	H27.11 完成	1.7
⑨	菖蒲田浜潮害防備保安林	H28.5 完成	1.0
⑩	代ヶ崎浜潮害防備保安林	未定	0.7
計			3.4

□地区広場整備事業

（単位：ha）

図	箇所名	完了予定	面積
⑪	吉田浜地区広場	H28.6 完成	0.6
⑫	代ヶ崎浜地区広場	H30 年度	0.6
計			1.2

① 菖蒲田浜海浜公園と県道周辺



① 菖蒲田浜海浜公園 (H29.1 完成)



② 菖蒲田浜海浜公園 (菖蒲田浜海浜公園南側)



③ 菖蒲田浜海浜公園 (汐見台南)(H28.6 完成)



④ 菖蒲田漁港緑地 (H29.6 一部完成)



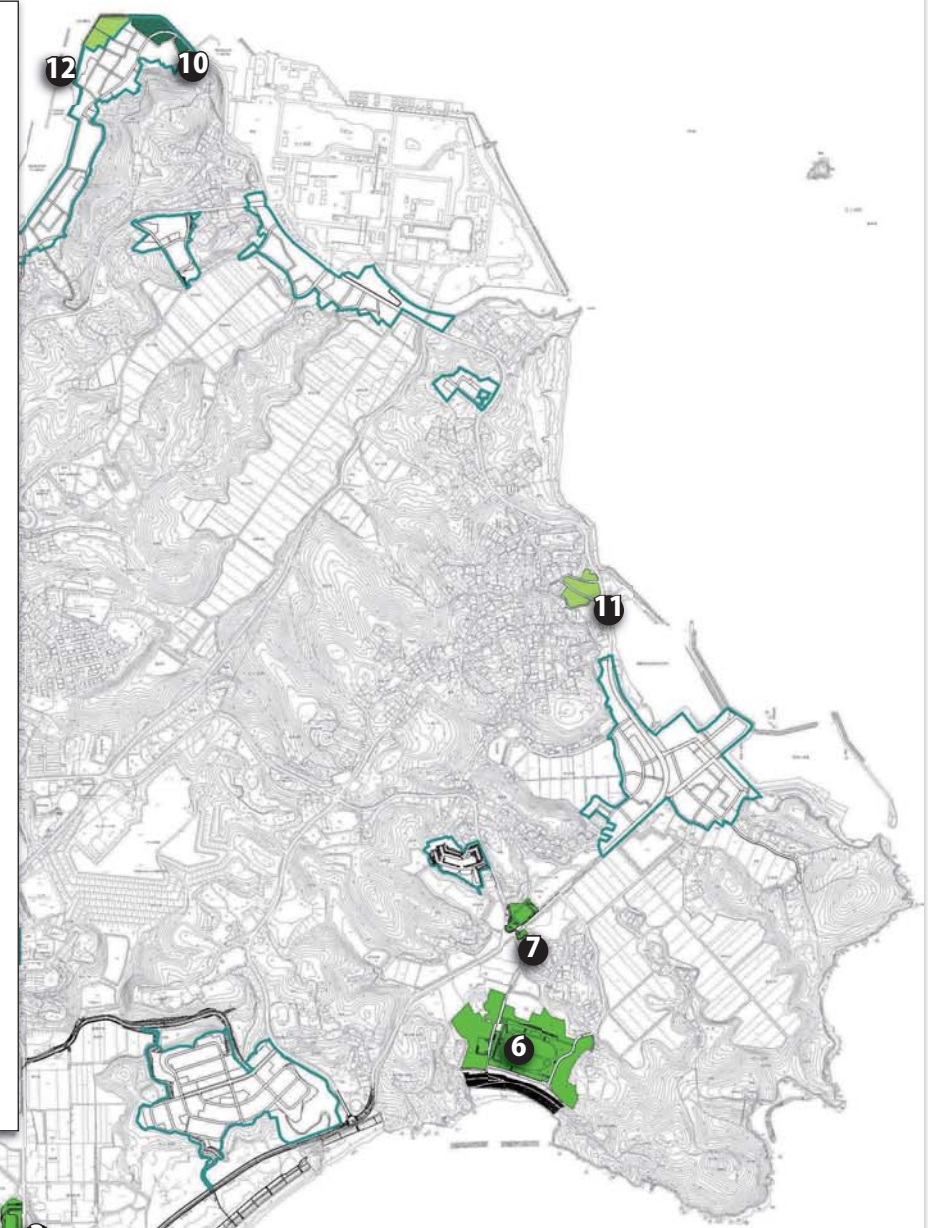
⑤ 諏訪前緑地 (H28.5 完成)



⑥ 表浜緑地



⑦ 割山緑地 (H28.5 完成)



⑫ 代ヶ崎浜地区広場

凡例

- 都市公園(津波防災緑地)事業
- 治山(潮害防備保安林)事業
- 地区広場整備事業

5 産業復興

本町の基幹産業である水産業や稲作などの農業は、東日本大震災による津波の被害により、壊滅的なダメージを受けました。雇用機会の確保にとどまらず、従事する方の生きがい対策や、街並みと調和した水田の風景など、第一次産業を中心とした産業の復興は欠かせないものです。産業基盤の迅速な復興により、本町の特性を生かした産業の活性化に住民と共に取り組みます。

□水産業基盤の復興

被災した海苔生産施設を共同利用として再整備することにより、水産業の共同化を推進し、雇用機会の確保を図ります。

- ・H24.10.30 海苔生産共同利用施設 10棟完成
- ・H24.11 海苔生産再開、海苔入札参加
- ・H25.10.19 県漁協七ヶ浜町水産振興センター完成

□本町の水産業水揚げ高の回復状況(宮城県漁業協同組合資料)

上段:収穫量:海苔(枚)魚介類(トン)下段:売上高(千円)

年度	海苔	魚介類	合計
H28	107,063,800	606	(H20比 117.2%)
	1,359,446	552,712	1,912,158
H27	107,838,500	710	(H20比 94.6%)
	1,065,221	477,205	1,542,426
H26	113,724,000	522	(H20比 83.4%)
	1,013,714	346,600	1,360,314
H25	99,162,800	301	(H20比 65.0%)
	788,194	272,908	1,061,102
H24	103,131,400	192	(H20比 59.8%)
	750,269	224,398	974,667
H23	14,989,000	184	(H20比 23.2%)
	152,503	225,708	378,211
H20 (震災前)	150,763,400	372	(100%)
	1,228,491	402,534	1,631,025



① 海苔生産共同利用施設 (H24.10)

□農業の回復と再生

被災した農地等について、農山漁村地域復興基盤総合整備事業等による復旧復興に取り組んでいます。

- ・農山漁村地域復興基盤総合整備事業(区画整理、農業用揚排水施設整備、暗渠排水、農業施設等用地整備) 143ヘクタール(農地122ヘクタール)
- ・被災地域農業復興総合支援事業(乾燥調製施設、農業用機械、格納庫、育苗ハウス)

□本町の主な農作物の作付面積(七ヶ浜町地域農業推進協議会資料)

[ヘクタール]

年度	水稲	大豆	合計
H28	84.45	17.76	(H21比114.7%)102.21
H27	73.98	11.94	(H21比96.4%) 85.92
H26	54.06	1.38	(H21比62.2%) 55.44
H25	51.51	18.47	(H21比78.5%) 69.98
H24	1.24	4.80	(H21比 6.8%) 6.04
H21 (震災前)	76.61	12.50	89.11



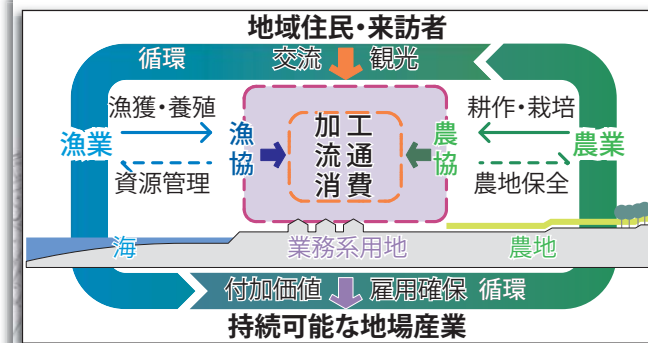
③ 共同乾燥調製施設(ミニライスセンター)(H26.11)

□産業拠点の形成による6次化産業の推進

水産物・農産物の6次化事業(生産⇒加工⇒販売)を民間活力により推進し、雇用機会の確保と産業振興を図ります。



④ 水産業共同利用施設(焼海苔加工施設)(H28.9)



凡例

- 業務系(区画整理地内の民有地含む)
- 農山漁村地域復興基盤総合整備事業
- 海苔生産共同利用施設



⑤ 商工会アンテナショップ「七のや」(H28.2)

